11月は「秋のこどもまんなか月間」

すべての子どもが笑顔で暮らせる社会に

「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施します！ 子どもへの虐待をなくす輪を広げていきましょう！

問合 区 保健福祉課（子育て支援） 6647-9895 6644-1937



安心して子どもを産み育てられるサポートをします

児童虐待ってどんなこと？



身体的虐待

殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト（育児放棄）

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

心理的虐待

言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（面前DV） など

児童虐待ってなぜ起こるの？

虐待が起こる背景は、多くの場合1つではありません。経済的な問題、育児の支援者がいない、夫婦関係の不和、近所とのつきあいもなく孤立している、など生活の中でさまざまなストレスを抱えた時、起こりやすいと言われています。頑張っている人ほどストレスを抱えていたりもします。保護者自身が苦しんでいることも多いのです。

まわりの皆さんへ　あれって虐待かも？と思ったら

少しでも虐待の可能性を感じたら、どうか迷わずお電話ください。あなたの通告で救われる命があります。



子どものサイン

- □子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴り声がする
- □衣類や体がいつも汚れている
- □不自然な傷や打撲のあとがある
- □夜遅くまで1人で遊んでいる など



保護者のサイン

- □孤立して地域と関わりが少ない
- □小さい子を家に残したまま外出している
- □子育てに無関心、拒否的な態度がある など

子どもの皆さんへ　あなたの安心・安全を一緒に考えます

上に書いてあることをされていたら、相談してください。信頼できるおとなから連絡してもらっても大丈夫です。

気付いたら、行動しよう！

相談・通告先 無料

《全国共通》児童相談所虐待対応ダイヤル

通話料無料、匿名可能、秘密厳守！ いちはやく 189

《大阪市》児童虐待ホットライン

フリーダイヤル まずは一報 なにわっこ
0120-01-7285

親子のための相談LINE

子育てや親子関係の悩みについて、子ども（18歳未満）とその保護者などが相談できる窓口です。

子ども家庭庁ホームページ　LINE友だち登録

保護者の皆さんへ　子育てのしんどさ、相談してください！

ひとりで抱え込まず、区役所3階の「子育て支援室」を頼ってください。保育士、保健師、社会福祉士、心理司など専門の職員が、どうしたらいいのか一緒に考えます。

- □イライラして、ときどき子どもにあたってしまう
- □子育てに自信が持てない
- □しつけのことで、どうしていいか分からないことがある

令和8年度の取組

11月19日（木）なにわっ子コンサート

詳しくは12ページをご覧ください♪



7月4日（土）に「なにわっ子フェスタ」を開催しました♪ 盛況でした♪



親と離れて暮らす子どもたちのために

いま、あなたを必要としている子どもたちがいます。
あたりまえの日常を子どもたちのために

「養育里親」を募集しています！



「さとおや」ってなぁに？

大阪市には、さまざまな事情で親と離れて暮らす子どもたちが約1,000人います。「里親」（さとおや）は、そうした子どもを自分の家庭に迎え入れ、必要な生活費や養育に関する相談などさまざまなサポートを受けながら、深い愛情と理解をもって育てる「子どものための制度」です。



大阪市ホームページ

YouTube 養育里親募集

養育里親（よういくさとおや）とは？

親の病気、離婚などさまざまな事情により親と過ごせない子どもが、もとの家庭で生活できるようになるまで、または自立できるようになるまで、家庭に迎え入れてくださる方のことです。里親を必要とする期間は、子どもの事情によってさまざまで、生活の都合に合わせて数日から数週間の短期間でもご協力いただけます。

※この他にも親族里親や専門里親、養子縁組里親があります。

Q&A

Q どれくらいの期間、子どもを預かるのですか？

A 数日間から数週間、数か月、数年、子どもが自立するまでなど、子どもの状況によってさまざまです。里親になった方の希望も聞きながら、マッチングをします。

Q 要件はありますか？

A 心身ともに健康で、経済的に安定してること、また、家庭で暮らせない子どもについての理解があり、豊かな愛情を有していることが要件です。

Q 経済的に大変では？

A 里親手当や生活費の支給があります。里親に賠償責任が生じた場合の保険にも加入しています。（保険料の負担なし）

なぜ、「さとおや」が必要なの？

子どもの成長にとって、家庭的な環境で、里親さんと毎日一緒に生活することは、大切なことです。「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「おやすみ」、そうやって家庭で一緒に生活し、笑いあえる人がいることで、自分も周りも大切に思うことができます。



さとおやの声

（大阪市ホームページから抜粋）

里親登録後しばらくして、保育園児の女の子を預かることが決まりました。その日が来るまでの3日間、胸がドキドキワクワクしていました。おもちゃ屋や駄菓子屋に駆け込み、その日が来るのを心待ちにしていました。1週間弱という短い期間ではありましたが、公園で遊んだり、一緒にご飯を食べたり、寝かしつけをしたり。子育ての大変さも感じましたが、楽しかったです。

「さとおや」になりたい場合は

里親支援センターへお気軽にお問い合わせください。詳しくはこちらから➡

浪速区にお住まいの方

大阪市中央里親支援センター結い 6776-2983